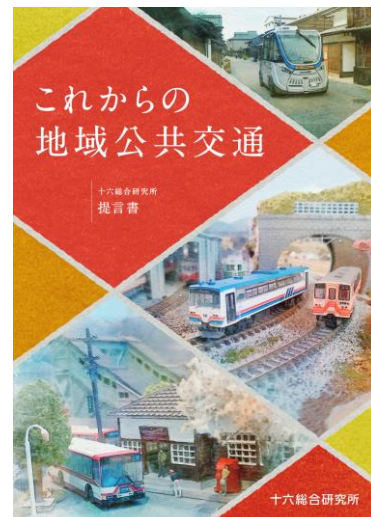


十六総合研究所 提言書 『これからの地域公共交通』 発刊のお知らせ

株式会社十六総合研究所（社長 高橋義信）は、地方における公共交通の衰退が、地域の活力低下に繋がる問題であると位置付け、分析結果や好事例、解決策を提示した提言書『これからの地域公共交通』を本日発刊いたしました。

地域の明るい未来を描くために、今を生きる私たちに何ができるかという視点から、当研究所が実施した研究結果をまとめた本提言書により、地域における公共交通に関する議論が一層深まることを期待しております。

なお、本提言書の執筆にあたっては、名古屋大学大学院の加藤博和教授にアドバイザーを委嘱しており、巻末には加藤教授の特別インタビュー「地域公共交通を考える」を掲載しております。



■ 概要版は[こちら](#)

提言書 『これからの地域公共交通』について

- ・ 価格：本体 1,000 円＋税
- ・ 販売場所：2023年4月20日より順次販売開始
Amazon 等ネット書店、三省堂書店（JR 岐阜駅・JR 名古屋駅タカシマヤ ゲートタワーモール）、丸善（マーサ 21）、大垣書店（岐阜高島屋）、カルコス（本店・各務原店・穂積店）、TSUTAYA（カラフルタウン）、郁文堂書店（岐阜市）、好文堂本店（揖斐川町）、田近書店（高山市）、[岐阜新聞情報センター出版室](#)
- ・ ページ数：136 ページ
- ・ 編著：株式会社十六総合研究所 編集委員会
- ・ 発行：株式会社岐阜新聞社
- ・ 構成
 - 第1章：移動の重要性と地域公共交通の現状
 - 第2章：地域の公共交通を支える交通手段
 - 第3章：公共交通に関する意識についてのアンケート
 - 第4章：公共交通の維持・存続を考えるうえでの視点
 - 第5章：地域公共交通の再構築
 - 第6章：提言
 - 第7章：特別インタビュー
(名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 加藤博和教授)

以上

お問い合わせ先
十六総合研究所 リサーチ部
(058-266-1916)